

第2回 全国里母の集い研修会 in 仙台

2月23日・24日は、里母の日。

平成31年2月23日(土) 13:00～17:40 交流会 18:00～20:00 / 24日(日) 9:00～12:30

会場：仙台市福祉プラザ「ふれあいホール」「プラザホール」

参加費：3,000円(別途交流会費 大人4,000円 子ども1,500円)

里父さんも
ご参加頂けます



泣いて、笑って、聴いて、しゃべって、
勇気もらって、元気に帰ろう。

1st day : 2月23日(土)

12:30 □受付

13:00 ①開会式

13:30 ②映画上映「君の笑顔に会いたくて」
かけがえのない命と向き合った保護司の物語



大沼えり子氏

15:20 ③基調講演(上映映画原作者)

大沼えり子氏

作家、保護司、DJ・シンガーソングライター
認定非営利活動法人ローゼンベル理事長

16:30 ④里父パネルディスカッション

「わが家の里父事情～その役割と想い～」

パネラー：里父さん3名程度

コーディネーター：草間 吉夫氏

17:40 東北福祉大学特任教授、厚生労働省・内閣府審議委員

18:00 □交流会

20:00

2nd day : 2月24日(日)

9:00 ①各里親会活動報告

9:30 ②講演「変わり続ける養育環境の中で
～家族、社会、そして私～」
講師：渡部 純夫氏

10:30 東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科 教授

10:40 ③グループディスカッション

11:40 「家族を再構築するための、母親としての役割とは」

11:40 ④グループ発表/講師まとめ

12:20 ⑤閉会式

12:30

こども企画(就学児)

1日目：パンとお菓子作り教室(協力：工房しらかば)

2日目：段ボールブロックで、遊び方無限大!

なんと1000個の段ブロックで、「つくる」「あそぶ」「こわす」

両日 定員40名・参加費1日500円 ※未就学児託児は無料(定員20名)

主催者：公益財団法人全国里親会(実施主体：仙台市ほほえみの会) 後援：仙台市、社会福祉法人仙台市社会福祉協議会

協力：東北福祉大学、社会福祉法人仙台市手をつなぐ育成会「工房しらかば」、宮城県なごみの会、みやぎ里親支援センターけやき、名鉄観光サービス株式会社仙台支店

本研修会は、「平成30年度キリン・福祉のちから開拓事業」の助成事業です

仙台市ほほえみの会

20th
ANNIVERSARY

いいのか？ オレなんかが生きてていいのか？

INTRODUCTION

子どもたちの健やかな未来を巡って、かつてなかった程の危機が語られています。

親による虐待や子殺し、子どもたちの貧困といじめ・・・まるで子どもたちの未来に赤信号が灯ってしまった様な現代社会。こんな時代の子どもたちと真正面から向き合いながら、心ならずも罪を犯した子どもたちの立ち直りを支援する女性保護司を主人公にこの物語は語られていきます。

又、この映画の舞台は宮城県名取市・・・

2011年の大惨禍はこの町の沿岸部 閉上(ゆりあげ) 地区を壊滅に追い込みました。あの日から時間は経過しながらも、いまだに癒えることのない被災地の心の傷も、この映画は観る側に語ります。



STORY

宮城県名取市に住む松浦香苗は、夫と一緒に街で小さな食堂を営む傍ら、保護司として心ならずも罪を犯してしまった子どもたちの、社会での立ち直りを支援する活動をしていた。

子どもたちの健やかな未来を願う香苗であったが、子どもたちの更生への社会の不理解や、子どもたちを守るべき家庭の崩壊の現実にも出会い、たくさんの悩みを抱えながらの活動だった。そんな折、香苗に保護観察所から一人の保護観察中の少年の担当が依頼された。

啓太・・・5年前の津波で命を失った香苗の息子が、子どもの頃親友として交わっていた少年だった。

事業に失敗した父親は、啓太を連れて夜逃げ同然にこの街を去ってしまい、それ以降は音信も途絶えていたのだ。

一見すっかり荒れた姿で香苗の前に現れた啓太だったが、その瞳の中に救いを求める光を見た香苗は、家族同然の対応で啓太を迎え入れるのだった。

日一日と、香苗とその家族の支えで、かつての自分を取り戻しつつある啓太だったが・・・



洞口 依子 | 寛 利夫

石丸 謙二郎 | かとうかず子 | 雛形 あきこ

五代 高之 | 土田 卓卓

監督：植田 中

原作：大沼 えり子 | 脚本：西井 史子

ゼネラルプロデューサー：佐竹 えり子 | エグゼクティブプロデューサー：鳥居 明夫 | 企画：恩田 真弓

後援：法務省、更生保護協会、日本更生保護協会、更生保護法人 全国保護司連盟、更生保護法人 全国更生保護法人連盟、日本更生保護女性連盟、特定非営利活動法人 日本BBS連盟、認定特定非営利活動法人 全国救済支援事業者機構、宮城県、名取市、若沼市、川崎町、亶理町、宮城県教育委員会、宮城県中学校長会、宮城県高等学校長協会

制作：映画「君の笑顔に会いたくて」製作委員会【加配社】株式会社シネマトゥデイ、株式会社アルファワン、協賛組合ジャパン・スローシネマ・ネットワーク、佐藤万里子、モイスター東北販売株式会社、株式会社 新生技連、株式会社 ホラ子、株式会社 ZEN、株式会社 湯又毛製菓店、株式会社 藤岡、有限会社 愛、株式会社 鈴木建築、株式会社 亀岡建設、大和電気株式会社、株式会社 山尊建設、オフィスオカザキ、昭和産業、株式会社 清月記、株式会社 井上組、株式会社 ヒルズ、司法書士 大沼真穂子、行政書士 大沼幸治事務所、佐竹えり子、株式会社 東洋環境開発、山形県日刊クリック、宮城自動車整備工場

配給：協賛組合 ジャパン・スローシネマ・ネットワーク

君の笑顔に会いたくて

大沼えり子氏 プロフィール

宮城県出身。1957年3月30日生まれ。血液型O型。宮城学院大学卒。

大学在学中から東京、仙台を中心に司会やシンガーソングライター & DJ.として活躍。結婚後、嫁ぎ先の割烹の若女将の仕事をごなしつつ、2001年保護司の委嘱を受ける。少年たちの更生に尽力する傍ら DJ.Rosy として北海道・東北地方にある3つの少年院に向けて院内放送「カントリーボーイ」を制作し、同録を贈り続け、かたわら帰る家のない少年たちの自立を支援する認定 NPO 法人「Rosy Bell」を設立、代表を務める。又、保護司や法人活動をきっかけに24時間対応の電話相談を行い、数多くの相談者や親子と向きあい、問題解決に向け奔走している。この電話相談をきっかけに、2010年3月子育ての指南書、『子育てよかった物語』を学研パブリッシングより出版。また、自らの経験を素に熱い想いを講演や著書でも伝えている。著書では、「この想いを伝えて・・・」を2007年に出版。この作品を原案とした中部日本放送 CBC スペシャルドラマ『ガラスの牙』が2007年日本民間放送連盟テレビドラマ部門優秀賞を受賞した。続けて、2008年「君の笑顔に会いたくて」を出版。この2作品を原作とし、2010年3月TBS月曜ゴールデンにて2時間ドラマ「ガラスの牙」が放映され話題を呼んでいる。2011年3月の東日本大震災では、宮城県名取市で震災を体験し、被災者であり、復興活動支援にも取り組んでいる。

2017年、家族・地域・社会そして命をテーマに、自身の著書「絲」～君の笑顔に会いたくて～を原作とした、映画「君の笑顔に会いたくて」を製作、同年9月から上映が始まり、多くの感動の声が寄せられている。

【お申込み・お問合せ】 名鉄観光サービス株式会社仙台支店 TEL022-227-3611 FAX022-261-4623

仙台市ほほえみの会事務局 〒980-0022 仙台市青葉区五橋 2-12-2 仙台市福祉プラザ6階 仙台市社会福祉協議会内 TEL022-223-2142 FAX022-262-1948